

PRESS RELEASE

2016年10月31日
株式会社三菱総合研究所

2016年7-9月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より11月14日（月）に公表予定の2016年7-9月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2016年7-9月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.5%	（年率 +1.8%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+0.1%	（年率 +0.5%）

2016年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.5%（年率+1.8%）と3四半期連続のプラス成長を予測する。潜在成長率（年率+0.5%程度）を大きく上回る成長を見込むが、内需の寄与度はほぼゼロであり、外需が成長を押し上げる姿となろう。

消費は、自動車など耐久財消費に持ち直しの動きがみられるものの、天候不順による交通費や外食、住宅修繕サービスなどの不振が響き、全体としては横ばいを予想する。設備投資も、円高による収益悪化などが企業の投資姿勢を慎重化させている可能性があり、同+0.2%と小幅プラスにとどまる見込み。公的固定資本形成は、前期の反動から同▲2.5%とマイナスを予測する。

輸出は、熊本地震によるサプライチェーンの影響を受けた前期の反動に加え、電子部品・デバイスなど新型スマートフォン関連の押し上げもあり、同+1.9%と2四半期ぶりの増加を予測。一方の輸入は、低調な内需などを背景に同▲1.2%の減少が予想され、結果として外需寄与度は+0.5%pのプラスを予測する。

表 2016年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りが無い限り 季調済前期比（%）		2015年	2016年		
		10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP		▲0.4	0.5	0.2	0.5
	季調済前期比年率	(▲1.7)	(2.1)	(0.7)	(1.8)
民間最終消費		▲0.8	0.7	0.2	0.0
民間住宅投資		▲0.5	▲0.1	5.0	2.1
民間企業設備投資		1.2	▲0.6	▲0.1	0.2
民間在庫	寄与度	▲0.2	▲0.1	0.1	▲0.1
政府最終消費		0.8	0.9	0.1	0.2
公的固定資本形成		▲3.2	0.2	2.6	▲2.5
財・サービス輸出		▲0.9	0.1	▲1.5	1.9
財・サービス輸入		▲1.1	▲0.5	0.0	▲1.2
内需	寄与度	▲0.5	0.4	0.4	▲0.0
民需	寄与度	▲0.5	0.2	0.3	0.0
公需	寄与度	0.0	0.2	0.1	▲0.1
外需	寄与度	0.1	0.1	▲0.3	0.5
名目GDP		▲0.3	0.8	0.3	0.1
	季調済前期比年率	(▲1.1)	(3.3)	(1.3)	(0.5)
GDPデフレーター	前年同期比	1.5	0.9	0.7	0.2
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.2	▲0.5	▲0.7	▲0.8

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2016年4-6月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

＜本件に関するお問合せ先＞

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 森重彰浩 米良有加 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp
広報部 吉澤、渋谷 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。